

茨城県の路線概要



□ 近隣の行事

- 土浦桜まつり（竜ヶ峰ほか市内各名所） 3月下旬～4月上旬
- 流鏝馬祭（日枝神社） 4月第1日曜日
- からかさ万灯（鷲神社） 8月15日

□ 公的施設等

- 県立中央青年の家 土浦市永井 987 TEL 029-862-3500
県立中央青年の家は、構成員5名以上の団体での各種研修利用が可能です（日帰り、宿泊可）。また、年間を通じて自然観察やそば打ち体験などの各種行事を開催しています。いずれも事前の申し込みが必要です。
- 小町の館 土浦市小野 491 TEL 029-862-1002

*コース周辺にはブルーベリー、ナシ、カキ、ブドウなどの観光果樹園が多く立地しています。詳しくは土浦市観光協会（電話 029-824-2810）へお問合せください。

コースのみどころ

このみちは…

旧関東鉄道筑波線（現在は桜川土浦潮来自転車道）の田土部駅と永井を起終点とするこのコースは、田畑や果樹園の広がる田園風景を楽しみながら、由緒深い神社仏閣を訪ね歴史を学ぶことのできる延長約18kmの一般向けの歩道です。

清滝寺（清滝観音）

南明寺清滝寺は、706年に寺の背後の山に創建され、大同年間（806～810）に徳一大師によって現在の場所に移されたと伝えられています。真言宗豊山派の寺で、坂東三十三箇所第26番札所として有名で、江戸時代に建てられた朱塗りの仁王門（写真）が昔日の面影を残しています。



日枝神社

日本三大山王流流鏝馬のひとつに数えられる流鏝馬祭が行なわれることで有名。祭神は大山昨命で農業の神として信仰を集め、一般に沢辺の山王様とよばれています。大猿退治の伝説に基づいて始まったとされる流鏝馬祭は、五穀豊穡を祈願し毎年4月第1日曜日に古式豊かに行われます。

東城寺

延暦15年（796）、最仙上人が常陸国天台宗の根本道場として開基した由緒ある寺です。鎌倉時代に小田氏により真言宗に改められ小田氏の祈願寺として保護されていましたが、天正年間（1570～1592）の兵乱で小田氏は佐竹氏に滅ぼされ、氏の保護をなくしました。薬師堂は慶安年間（1648～1652）に再建されたもので本尊の薬師如来や両脇侍像は県指定の文化財です。

法雲寺

正慶元年（1332）、足利尊氏が常陸国守護小田治久に命じ、復庵宗己を招いて開山、勅願寺としたのが始まりと伝えられています。絹本著色復庵和尚像など、国や県の重要文化財に指定されている寺宝が多く残されています。

向上庵

法雲寺の支院で、自然の地形を生かした築山がすばらしく、県の天然記念物に指定されていた、推定樹齢300年のしだれ桜は、台風で倒木してしまいましたが、現在は2代目が植樹されています。

小町の館

小町伝説の魅力を伝えるとともに、人々の交流の場所として利用されています。茨城県下最大級の直径7mの水車が目印で、そば打ち体験（要予約）や観光情報を得ることができ、小町ギャラリーでは小町伝説について知ることができます。



首都圏自然歩道

関東ふれあいの道

茨城県 14 寺社めぐりと田園風景のみち

永井～旧田土部駅



土浦市沢辺の蕎麦畑

関東ふれあいの道は、

首都圏に残された美しい自然や歴史遺産などを“みち”で結び、

首都圏を一周する長距離自然歩道です。

茨城県内のルートは、常陸大宮市の御前山県立自然公園、笠間県立自然公園、

水郷筑波国定公園や筑波研究学園都市を経て、稲敷市に至る延長約255kmで

18コースにより構成されています。

家族や友人と一緒に歩いて見ませんか。

茨城県 県民生活環境部 環境政策課

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978-6 TEL 029-301-2946

土浦市 商工観光課

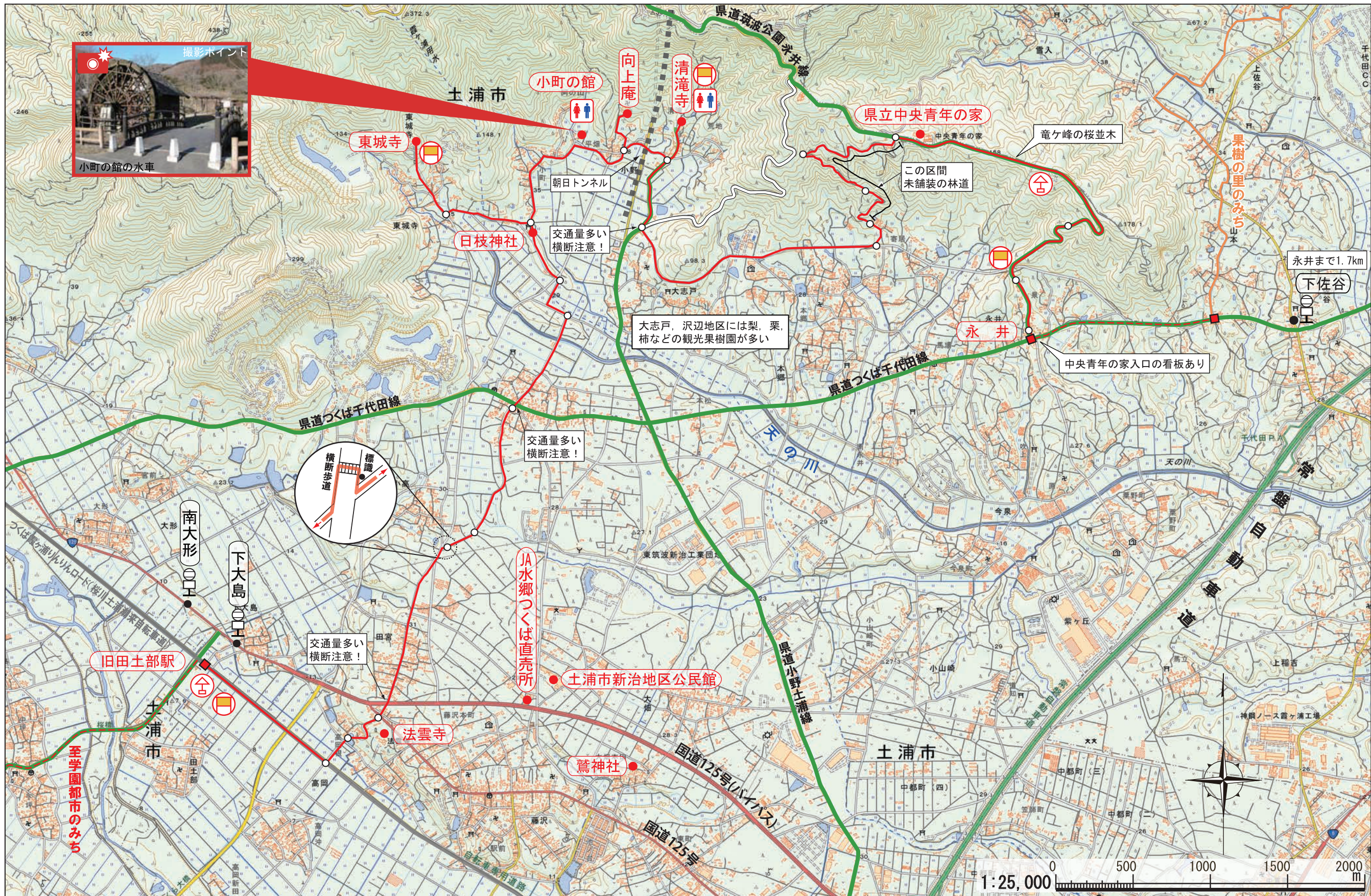
〒300-8686 茨城県土浦市大和町9-1 TEL 029-826-1111



茨城県



凡例	■ 関東ふれあいの道	○ 指導標識	⊕ 路傍休憩所	♿ 公衆トイレ	🚌 バス停留所
	- - 連絡コース	— 県道	📄 コース案内板	P 駐車場	— 接続コース



調整 茨城県県民生活環境部環境政策課